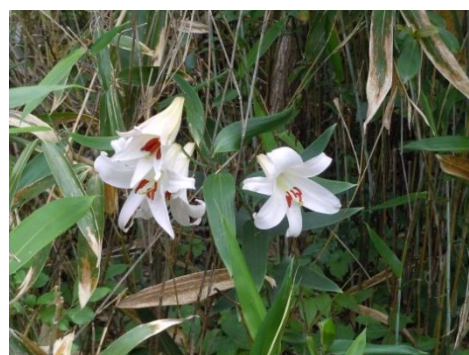


## 福井ふるさと学びの森あわらエリア第1回体験イベント 「春の森散策&山野草観察+サツマイモ植え付け体験」

- 1 日時：平成28年5月14日（土） 10:00~12:30
- 2 場所：福井ふるさと学びの森あわらエリア（北潟国有林）・あわら夢ぐるま公園
- 3 参加者：一般県民11名（うち小学生4名）
- 4 指導者：里山里海湖研究所 ふるさと研究員 河田 勝治さん（あわらの自然を愛する会）
- 5 内容：

福井ふるさと学びの森あわらエリアの第1回体験イベントを開催しました。

まずは、北潟国有林の概要を聞いてから、散策を始めました。道中で、河田さんからアカマツとクロマツの違い、スダジイの花の観察をはじめ、この時期に見られる山野草について解説を聞きました。花の時期はもう終わっていましたが、オウレンやシュンランなど希少な植物について、枝打ちや下草刈りなど人が手を加えないとこれらの植物は育つことができないこと、特にシュンランは大きな株になるまで10年以上かかっていること、たとえこれらを庭に植えても、環境の違いから枯れてしまうことなど、里山という環境に守られて生育しているものであるという説明を受けました。その後、この時期に咲く代表的な山野草であるササユリの花を見に行きました。近づくにつれて、あたりに芳香が漂い、緑の中に咲く真っ白な花を見た時には参加者から感嘆の声が上がりました。ササユリの名は、葉の形がササに似ていることから名づけられていることや、他の地域では盗掘の被害にあいその姿が見られなくなってしまうところもあるというような話を聞きました。



次に、あわら夢ぐるま公園近くの農場に移動し、北潟地区の特産であるさつまいも「富津金時」の苗の植え付けを行いました。30mほどの畝に特殊な道具を使って、1本1本手で苗を植えていきます。親子で協力しながら、全部で300本の苗を植えました。秋には、収穫祭も予定しているという話を聞き、参加者の皆さんは、その日を心待ちにしているようでした。

